

【例題5】問題

平成18年3月31日における北日本商店(決算 年1回 3月31日)の決算
理後残高試算表は、次のとおりであった。この決算整理後残高試算表
と参考資料によって、損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。

決算整理後残高試算表
平成18年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
195,000	現 金	
543,000	当 座 預 金	
840,000	売 掛 金	
?	売 買 目 的 有 価 証 券	
212,000	?	
?	備 品	
	備 品 減 価 償 却 累 計 額	?
	買 掛 金	326,500
	借 入 金	360,000
	貸 倒 引 当 金	?
	資 本 金	1,500,000
	売 上	?
	有 価 証 券 評 価 益	?
1,044,000	仕 入 料	
279,000	給 料	
48,000	支 払 家 賃	
?	消 耗 品 費	
?	支 払 保 険 料	
4,700	雑 費	
?	支 払 利 息	
6,800	貸 倒 引 当 金 繰 入	
?	減 価 償 却 費	
4,000	前 払 家 賃	
9,300	消 耗 品	
	未 払 利 息	4,500
4,148,800		4,148,800

参考資料

- (1) 期首商品棚卸高は、 ¥223,000であった。
- (2) 備品は定額法で減価償却を行っている。(間接法 残存価額10% 耐用年数10年)
- (3) 売買目的有価証券は当期に購入したもので、取得原価は ¥359,000であった。

【例題5】答案用紙

貸借対照表
平成18年 3月31日

資 産	金 額	負債および資本	金 額
現金	()	買掛金	()
当座預金	()	借入金	()
売掛金	()	資本	()
貸倒引当金	16,800 ()	当期純利益	()
有価証券	365,000		
商備	212,000		
()	500,000		
()	()		
()	365,000		
消耗品	()		
()	()		
()	()		

損益計算書
平成17年 4月 1日から平成18年 3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
()	()	()	()
給料	279,000	有価証券評価益	()
支払家賃	()		
消耗品費	26,000		
貸倒引当金繰入	()		
()	()		
支払保険料	()		
雑費	()		
支払利息	18,000		
当期純利益	()		
()	()		

【例題5】解答

貸借対照表
平成18年 3月31日

資 産	金 額	負債および資本	金 額
現金	195,000	買掛金	326,500
当座預金	543,000	借入金	360,000
売掛金	840,000	未払利息	4,500
貸倒引当金	16,800	資本金	1,500,000
有価証券	365,000	当期純利益	325,500
商備	212,000		
備	500,000		
減価償却累計額	135,000		
前払家賃	4,000		
消耗品	9,300		
	2,516,500		2,516,500

損益計算書
平成17年 4月 1日から平成18年 3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
売上原価	1,044,000	売上高	1,800,000
給料	279,000	有価証券評価益	6,000
支払家賃	48,000		
消耗品費	26,000		
貸倒引当金繰入	6,800		
減価償却費	45,000		
支払保険料	9,000		
雑費	4,700		
支払利息	18,000		
当期純利益	325,500		
	1,806,000		1,806,000

決算整理後残高試算表の「繰越商品」の金額は期末商品棚卸高です。

したがって、何の修正も必要ありません！

決算整理後残高試算表の「給料」「消耗品費」「支払利息」「貸倒引当金」の金額は答案用紙に書いてあります。

決算整理後残高試算表の備品減価償却累計額の高額は答案用紙の貸借対照表の金額から計算して求めます。

備品の減価償却費 = $500,000 \times 90\% \div 10 = 45,000$

決算整理後残高試算表の「支払保険料」の金額は借方合計からの差額で計算できます。

決算整理後残高試算表の「売上」の金額は貸方合計からの差額で計算できます。